

傾聴活動

グループ名 **傾聴みなみ**



傾聴ボランティア養成講座

活動場所	①南区福祉保健活動拠点 ②南区内地域ケアプラザ他施設他
活動日時	①第3木曜日13:30～15:30(8月休み) ②活動及施設の予定により適宜
活動対象地域	主に南区
連絡先	南区ボランティアセンター
TEL	045-260-2531
FAX	045-251-3264
ボランティア人数	39名

活動目的・モットー

(発足のきっかけ) 南区社協主催の「傾聴ボランティア養成講座」受講者OBにより平成21年12月に発足。

(モットー) 性別・年齢にかかわらず、だれにでも話し相手(聞き手)になる。「ことば」に耳を傾けて「ことば」を聴く。そして共に人間的成長を目指す。

活動内容・活動歴

南区内の各地域ケアプラザ(デイサービス)・特養ホーム・有料老人ホーム・グループホーム及び個人宅を訪問して傾聴活動を行っている。訪問施設は18か所で、活動者の都合に合わせて活動頻度(毎週・隔週・月1回等)や曜日を設定している。

傾聴講座(定例会でのミニ講座・隔年実施の養成講座)・福祉施設職員との交流会・他傾聴グループとの交流会(隔年)なども行っている。



施設職員との交流会



ミニ講座 ロールプレイ

活動についてのQ&A（ボランティアメンバーの声）

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは？
いつ頃から？

A.退職して自分の時間ができ、「傾聴養成講

Q.活動をしているメンバーはどんな方達？

A.主なメンバーは50～80代の方々に40名前後。
女性が多く、男性は少ない。

Q. 活動を行う中で大変だと思うことは？楽しい
と感じることは？

A.
(大変なこと)訪問先ではいろいろな障害を持つ
方がおられ、話がスムーズに進まない時もある。
(楽しいこと)訪問を心待ちにしてくれていること。
帰り際に「また来てね！」と言ってもらえること。

Q.活動をする中で気づいたことは？

A.思いやりと感謝の気持ち、自分を知ること。

Q.活動をはじめて良かったことは？

A.傾聴することの難しさ、楽しさを知り、友人・家
族との関係にも役立つ。

ある日の活動

平日午前10:30～11:30 デイサービス訪問

この時間帯はだいたい入浴の時間になっている。

けいよう相手はその日によって異なる。今日は一人でぼつんとしているAさんと話す。Aさんは本好きで、今読んでいる本の話をしてくれる。30分ほど話すと、スタッフから入浴の声がかかり、「また来ますネ」と別れの挨拶をする。

残りの30分はテーブルグループ(3～4人)に移動し、季節に合った話をする。「七五三」が近くなれば「昔は頭に大きなリボンをつけてぽっくり下駄をはいたよ」とか昔の生活がうかがえる話がよく出てくる。ほぼ1時間ごろを見計らって挨拶をして帰る。

施設によっては報告書を書くところもある。

ぜひ利用してみたい。
手続き・準備はどうすればいい？

南区ボランティアセンター(260-2531)に
問い合わせをしてください。

定例会(第3木曜日)で活動可能者を募
ります。

個人対応に関しては交通費相当として500
円をいただいています。また、個人宅での活
動の場合は、活動者2名での対応またはご
家族等の同席をお願いすることがあります。

ボランティア活動を一緒にやってみ
たい。どうすればいい？

南区ボランティアセンター(260-2531)
に問い合わせの上、定例会(第3木曜
日13:30～15:30 於:南区福祉保健活
動拠点)の見学をお願いします。

年会費 500円

活動条件は養成講座を受けること。

(入会後の受講でも可)

会員募集中！